

<従前の学習指導要領に基づく単元指導計画>

単元名	明治維新
-----	-------------

1 単元のねらい

明治維新についてさまざまな改革を調べることを通して、明治政府が、日本を欧米諸国に対抗できる中央集権国家にすることを目指したことが分かる。

2 単元の評価規準

	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
単 元 の 評 価 規 準	明治維新の経緯の あらましや人々の生 活の大きな変化に対 する関心を高め、意欲 的に追究している。	明治維新の経緯のあ らましや明治新政府が 行った諸改革の意図、 人々の生活の大きな変 化を多面的・多角的に 考察し、その過程や結 果を適切に表現してい る。	明治維新の経緯のあ らましや人々の生活の 大きな変化についての 学習に役立つ情報を適 切に選択して、読み取 ったり図表にまとめた りしている。	明治維新の経緯のあ らましについて、世界 の動きに関わらせて理 解し、その知識を身に付 けている。

3 単元構造図（全7時間）○基礎的・基本的な知識、概念や技能

<p>単元名 明治維新</p>	<p>単元学習前の生徒の認識 近代化を進めた欧米諸国と不平等条約を結んだ江戸幕府。その後、長く続いた江戸幕府が滅亡し、明治政府による新しい国づくりが始まった。鎖国によって、欧米諸国と比べて遅れているこの国を明治政府はどのように変えていくのだろうか。</p>	
<p>第1時 新政府の成立</p>		
<p>明治政府によってどのようなことが行われたのか。 ○五箇条の御誓文 ○版籍奉還 ○廃藩置県 ○藩閥政治 ○解放令 この時代は、江戸幕府から明治政府に変わり日本のしくみや人々の生活が大きく変わった。明治政府がどのような国をつくろうとしたのか学習したい。</p>		
<p style="writing-mode: vertical-rl;">明治政府はどのような国をつくろうとしたのか。</p>	<p>第2時 明治維新の三大改革 明治政府は、三大改革によって日本をどんな国にしようとしたか。 ○学制 ○徴兵令 ○地租改正 明治政府は、<u>学制</u>によって近代的な教育制度を整え、<u>徴兵令</u>によって軍備を強化し、<u>地租改正</u>によって財政を安定化させた。三大改革を行うことで、近代化を進めた。</p>	<p>第3時 富国強兵と文明開化 欧米諸国に対抗するために、どのような政策がとられたか。 ○富国強兵 ○殖産興業 ○官営模範工業 ○文明開化 ○福沢諭吉 ○中江兆民 資本主義化を図り、殖産興業政策を進めることで、<u>徴兵制</u>と合わせて<u>富国強兵</u>を目指した。欧米文化の流入によって、人々の生活も大きく変わった。</p>
	<p>第4時 明治政府は、近代国家を目指して東アジアの国々とどのような関係を結んだか。 ○岩倉使節団 ○日清修好条規 ○征韓論 ○日朝修好条規 ○板垣退助 日本は、アジアの中でいち早く欧米諸国との<u>不平等条約</u>を改正して対等な関係を築こうとし、<u>岩倉使節団</u>を派遣した。清や朝鮮に対して日本が有利になる条約を結んだが、それは欧米がしてきたことと同じものだった。</p>	
	<p>第5時 国境と領土の確定 日本の領土は、どのように確定したのだろうか。 ○樺太・千島交換条約 ○北海道 ○琉球処分 ロシアとは、<u>樺太・千島交換条約</u>を結び、北海道の開拓を進めた。琉球王国を沖縄として日本の領土とし、小笠原諸島なども日本となった。欧米のように<u>近代的な国際関係</u>を目指す日本にとっては、<u>国境線</u>を定め、領土を確定することが重要課題だった。</p>	
	<p>第6時 自由民権運動の高まり 政府批判として自由民権運動が広まったのはなぜだろう。 ○民撰議院設立の建白書 ○自由民権運動 ○西南戦争 ○国会期成同盟 ○自由党 明治政府は、旧薩摩藩・長州藩出身のごく一部の有力者からなる専制政治であった。西郷らは、<u>西南戦争</u>を起こして政府に反対したが、武力ではかなわなかった。板垣は、<u>議論</u>で政府に対抗しようとし、<u>国会</u>の開設を目指して自由民権運動を進めていった。</p>	
	<p>第7時 立憲制国家の成立 大日本帝国憲法はどのようにつくられたか。 ○内閣制度 ○大日本帝国憲法 ○帝国議会 ○教育勅語 大日本帝国憲法は天皇の権力が強く、<u>天皇</u>を中心とした<u>国づくり</u>のための憲法である。制限はあるが、日本で初めての選挙が行われ、<u>国会</u>も開かれた。その結果、日本は<u>アジア</u>で唯一の立憲国家になった。これで、欧米の国々と制度面でも肩を並べられたことになった。</p>	
<p>単元学習後の生徒の認識 明治政府は近代化を進めるため、富国強兵や殖産興業を進め、欧米の先進文化を積極的に取り入れていった。また、外交政策を通して日本の地位を上げようと考えていた。そして、大日本帝国憲法の発布により、アジアで最初の立憲国家になった。不平等条約改正のための準備は整ったが、これからの日本はどのように変わっていくのだろうか。</p>		

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準・	◇資料 指導・援助
1 新政府の成立	<p>明治政府によって多くの改革が行われたことを知ることを通して、日本の近代化が進められ不平等条約の改正が成功したことに気づき、明治政府の動きに対する意欲を持つことができる。</p> <p>○五箇条の御誓文 ○版籍奉還 ○廃藩置県 ○藩閥政治 ○解放令</p>	<p>1 「五箇条の御誓文」の内容をつかむ。</p> <p>2 「版籍奉還」「廃藩置県」について確認する。 ・藩を廃止して県を置いた。県には中央の役人が来るからどの地域も明治政府が直接治めることになる。</p> <p>明治政府によってどのようなことが行われたのか。</p> <p>3 年表を使って、明治政府の諸改革をまとめる。 ・様々な改革が行われている。明治政府は、どんな国にしたかったのだろう。 ・文明開化によって人々の生活も大きく変わってきたんだ。外国の影響も受けている。 ・憲法がつくられている。どんな内容だったのか。 ・東アジアの諸外国と条約を結んでいる。</p> <p>《単元を貫く課題》</p> <p>明治政府はどのような国をつくらうとしたのか。</p> <p>4 感想を書く。</p>	<p>明治維新に関心をもち、明治政府がどのように近代化を進めたのか意欲的に追究している。 (関・意・態)</p>	<p>◇五箇条の御誓文 ◇版籍奉還 ◇廃藩置県 ◇明治時代年表</p> <p>廃藩置県から江戸時代との違いを見つけるようにする。</p>
		<p>この時代は、江戸幕府から明治政府に変わり日本のしくみや人々の生活が大きく変わった。明治政府がどのような国をつくらうとしたのか学習したい。</p>		
2 明治維新の三大改革	<p>明治の三大改革について調べる活動を通して、明治政府が目指した近代化が国民に大きな影響を与え、各地で一揆が起こったと考え、表現することができる。</p> <p>○徴兵令 ○地租改正 ○学制</p>	<p>1 年表から、版籍奉還と廃藩置県の後に、三大改革に着手したことをつかむ。</p> <p>明治政府は、三大改革によって日本をどのような国にしようとしたのか。</p> <p>2 三大改革について個人で追究し、全体で交流する。 ・武士に代わって全国統一の近代的な軍隊をつくらうとし、兵役義務を課した。 ・土地の所有権を認め、地価に対する税を現金で支払わせることで国家財政を安定させた。 ・6歳以上の男女すべてが小学校教育を受けること。実際は授業料が高かったため、就学率が低かったが徐々に伸びた。</p> <p>3 人々の負担という視点から三大改革について考える。 ・授業料や学校の建設費の負担も多かった。 ・三大改革は人々の負担も多く、反対も大きかった。</p> <p>4 まとめを書く。</p>	<p>三大改革によって、明治政府が近代化の基礎を築いていったことを考察している。 (思・判・表)</p>	<p>◇徴兵告諭 ◇政府の収入の移り変わり ◇学事奨励に関する被仰出書(学制序文) ◇おもな農民一揆</p> <p>各改革の目的を考えさせることで、富国強兵を目指していたことに気付くようにする。</p>
		<p>明治政府は、学制によって近代的な教育制度を整え、徴兵令によって軍備を強化し、地租改正によって財政を安定化させた。三大改革を行うことで、近代化を進めた。</p>		
3 世界とつながる日本の文明開化	<p>日本の伝統的な生活との変化を調べることを通して、近代的な産業を発展させ、欧米諸国に対抗するために政府が進めた富国強兵・殖産興業の内容を理解し、江戸時代と比較しながらまとめている。</p> <p>○富国強兵 ○殖産興業 ○官営模範工業 ○文明開化 ○福沢諭吉 ○中江兆民</p>	<p>1 前時までの学習より、課題化を行う。</p> <p>欧米諸国に対抗するために、どのような政策がとられたか。</p> <p>2 個人で追究し、全体で交流する。 ・徴兵令に加え、殖産興業を進めることで富国強兵を目指した。 ・富岡製糸場などの官営模範工場が作られ、日本の資本主義化を支えた。 ・鉄道や蒸気船の運行も始まり、経済の発展の基礎となった。 ・欧米の近代思想も取り入れられ、人間の平等と民主主義を説いた福沢諭吉の「学問のすゝめ」や中江兆民のルソーの思想は大きな影響を与えた。 ・日本人の生活も欧米化し、伝統的な生活が変わっていった。</p> <p>3 まとめを書く。</p>	<p>富国強兵を実現するために、殖産興業政策が進められていったことや、欧米の文化が取り入れられ、日本の伝統的な生活が変化してきたことを、さまざまな資料から読み取っている。(技能)</p>	<p>◇富岡製糸場の様子 ◇明治初期の日本橋の様子 ◇牛鍋を食べる「ザンギリ頭」の男性 ◇中江兆民 ◇福沢諭吉 ◇明治時代に新しく始まった仕組み</p> <p>各種資料から読み取った事実の共通点を見つけるようにする。</p>
		<p>資本主義化を図り、殖産興業政策を進めることで、徴兵制と合わせて富国強兵を目指した。欧米文化の流入によって、人々の生活も大きく変わった。</p>		

時	ねらい	学習活動	評価規準	◇資料 指導・援助
4 岩倉使節団と殖産興業	岩倉使節団の目的と帰国後の動きを調べることを通して、日本が朝鮮に対して結んだ内容が、欧米がしてきたことと同じだということを読み取ることができる。 ○岩倉使節団 ○日清修好条規 ○征韓論 ○日朝修好条規 ○板垣退助	1 年表から、日本が東アジア諸国と条約を結んでいたことを確認する。 明治政府は、近代国家を目指して東アジアの国々とのような関係を結んだか。 2 個人で追究し、全体で交流する。 ・岩倉使節団は、欧米との不平等条約を改正することはできなかった。 ・清と対等な内容の日清修好条規を結ぼうとした。 ・朝鮮に対しては、日本が有利な日朝修好条規を結び、力で朝鮮半島を開国させた。 3 まとめを書く。	明治政府が行った外交政策について、欧米諸国やアジア諸国の視点から読み取ることができる。(技能)	◇岩倉使節団 ◇日清修好条規 ◇日朝修好条規 日清修好条規と日朝修好条規の内容の違いを見つけるようにする。
5 近代的な国際関係 ※前教科書	明治政府の外交政策について調べる活動を通して、ロシアなどの近隣諸国と条約を結んだり、沖縄県を設置したりするなどしながら国境を画定したことを読み取ることができる。 ○北海道 ○琉球処分 ○樺太・千島交換条約	1 明治時代の外交資料から課題を設定する。 日本の領土は、どのように確定したのだろうか。 2 個人で追究し、全体で交流する。 ・蝦夷地を北海道と改め、開拓使という役所を開いて統治を強化した。 ・琉球王国は、武力によって日本に編入され、琉球藩、沖縄県と名前を変えていった。 ・方言札などを用い、徐々に同化させていった。 ・ロシアとは対等な条約を結んだ。 3 まとめを書く。	日本の国境がどのように決まっていたかについて読み取っている。(技能)	◇国境の設定 ◇琉球処分 ◇樺太・千島交換条約
		ロシアとは、樺太・千島交換条約を結び、北海道の開拓を進めた。琉球王国を沖縄として日本の領土とし、小笠原諸島なども日本となった。欧米のように近代的な国際関係を目指す日本にとっては、国境線を定め、領土を確定することが重要課題だった。		

<現在の学習指導要領に基づく領土問題に関する指導の例>

【領土問題をめぐる問題の背景】

○ねらい

日本固有の領土の現状や問題について、興味・関心をもつとともに、正しく理解することができる。
また、領土をめぐる問題のうち、北方領土問題を取り上げ、解決に向けて何ができるかについて、様々な視点から考察することができる。

○展開

- 1 日本固有の領土を韓国やロシアが不法に占拠している事実（漁船への威嚇、領海への侵入数等）を知る。
【学習課題】現在の日本の領土に関する問題は、どのように生まれたのだろうか。
- 2 蝦夷地や琉球王国に対する政府の政策を調べるとともに、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土となった歴史的な経緯や現在の様子を知り、双方の立場を基に、考えたことや感想を交流する。
- 3 北方領土を取り上げて、領土問題やその解決に向けた取組について考察する。
※ その他、竹島や尖閣諸島の様子をタブレット端末や諸資料を活用して調査したり、レポートにまとめて交流したりする。
(1) 北方領土の元島民の話から、北方領土から追い出された事実を知る。
(2) 日本とロシアの異なる見解を知り、事実と両者の主張から、問題の要因を考える。
(3) 根室高校の生徒の北方領土返還運動について知り、自分たちにできることを考える。